

『平成』から『令和』へと新元号が公布された今日は、花曇りで時折薄日が射し、窓から見える里山の新芽も堅い小檜林の枝々がそよ風に揺れています。いつも風がこれくらい穏やかな吹き方であるといいのにと、去年と一昨年に大暴れし、各地で大きな被害をもたらした、里山では赤松や杉や崖に生えた小檜の大木をなぎ倒していった幾つもの台風を恨めしく思い出します。気候変動をもたらす地球温暖化には歯止めがかからず、森林破壊も相変わらず継続している今の状況が、これからの令和の時代には歯止めがかかって欲しい、後世に生きる子孫のために少しでも良い環境を残したいという思いを新たにしました。

さて、平成30年度下期は三田市立有馬富士森林公園での里山保全管理活動を中心に県立有馬富士公園の行事の参画や、北摂里山博物館主催の里山大学への支援や、有馬高校や松が丘小学校の里山体験支援、里地里山研修旅行、椎茸の菌打ち体験イベントなど楽しく活動してまいりました。なかでも、有馬高校の生徒が、小学生の時に当クラブの電気ペン工作をしたことがあると笑顔で言ってくれたことは、うれしい思い出の一つであります。

4月は有馬富士公園春フェスティバルで、その電気ペン工作のテントを出します。たくさん子どもたちが木のぬくもりを感じつつ、世界に一つだけの自分の作品を作る楽しみを味わってもらえるように、里山の手入れで出た木々の枝の輪切りを準備しています。

年に一度の定期総会も近づいてきました。みなさまのご参加をお待ちしています！ 会員のみなさまのご健勝を心からお祈りしつつ。

平成最後の31年4月1日記 代表世話人 北田香菜子

平成30年度下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 28日  
作業延人数 368名 (10/1 ~ 3/31)  
三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林を保全・整備しています。基本的には毎週水・土曜日にメンバーが集まり、里山ふれあい森づくり作業を推進中です。

▲平成30年11月28日(水)の作業日  
14名のレギュラーメンバーが集まりました。



▲同じ11月28日(水)三田市農政局：有馬富士森林公園の倒木被害現場確認立会い



▲11月24日(土)の作業日  
尼崎信用金庫の皆さんと。登山道脇の根笹をハサミと鎌で除去しています。



▲1月30日(水)の作業日  
暴風で登山道方向に傾いた枯れ赤松を危険ですので、伐採したところです。



▲2月13日(水)の作業日  
この秋の台風で倒れた桜・赤松・小檜の集積中です。



★クラブの里地・里山文化研修 11月7日(水)  
参加人数 14名

南丹市園部町のメンバー所有の立派な杉・松の山林や昔からの庄屋屋敷や、福住集落「安田の大杉」等を見学しました。杉・松の山林では、少しだけ、整備作業も体験させていただきました。



②シイタケ菌打ち体験会  
最後に有馬富士をバックに全員で記念写真



★イベントの開催  
①10月20日(土) ありまふじフェスティバル  
電気ペン(電気ペン参加者74名:スタッフ9名) 間伐材の樹木を活用しています。



②3月9日(土) シイタケ菌打ち体験会 昨秋の台風の風倒木のコナラをホダ木の原木に活用しました。(参加者31名:スタッフ13名)



③10月6日(土) 尼崎信用金庫植樹祭 (スタッフ7名参加)



★里山体験学習支援  
①12月18日(火) 松が丘小学校の里山体験学習支援 19名(スタッフ9名)  
(事前に11月20日(火) 里山についての話と校区の里山の様子見学)



②11月3日(土) 北摂里山大学植生調査体験学習支援  
参加生徒18名(スタッフ6名)



平成31年度上期の活動予定

- 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
- 4月10日 春を食する会
- 4月20日 春のありまふじフェスティバル 電気ペンの出店
- 4月17日 緑の環境クラブ 第22回定例総会
- 6月4日 有馬高校公開セミナー
- 9月未定 きのご観察会